



# 公明こうべ

2017年  
春号

発行：公明党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1  
http://www.kobe-komei.net

## 実績特集



### ④ 優れた教育環境は神戸の未来を拓く

すべての子供たちがその可能性を伸ばし社会の人材として活躍する。それが将来にわたって都市の活力を高める原動力です。人材があればこそ新しい産業も生まれ、企業も集まります。神戸をそのような街にする予算を実現しました。

**実績1**  
無料で勉強教えます（生活困窮世帯の学習支援拡大）

生活困窮世帯や生活保護世帯の子どもたち（中学生）を対象に全区の12会場で通年型の学習支援をしてきましたが、平成29年度は、小学生にも対象を拡大。高校・専門学校・大学等への進学率を高め、貧困の連鎖を食い止めます。



### 実績2

心地よく勉強できる学校に学習能力を育むには心地よい環境が大事。平成29年度予算で、老朽化したエアコンの更新やトイレの洋式化老朽改修などを21小学校、10中学校、高校1校、特別支援学校2校で実施します。さらに、小学校9校で新たにエレベーターを設置します。



### 実績3

学習力向上にベテラン教師配置  
教師の多忙化を解消し、児童生徒に向き合い、学習能力を高めるため、「総務学習担当」のベテラン教師を小学校50校以上に配置。若手教師の指導にも当たります。さらに多忙を極める教頭の負担軽減のため、「教頭業務補助スタッフ」も配置します。

### 実績4

学習塾用の定期券発売・塾の費用負担を応援

市営地下鉄線・山手線（西神中央―新神戸）で中学生以下の子供たちを対象に「U-15定期券」の発売。通学目的に限られていた通学定期の割引率（約6割引き）を、学習塾や習い事等での利用にも拡大。発売は平成29年4月予定。

さらに、地下鉄海岸線（新長田―三宮花時計前）では、7月から来年3月まで、中学生以下（市外も含む）の運賃を無料にする社会実験も行います。



市営地下鉄山手線

### 実績5

読書力アップのために学校司書増員  
読書力は、すべての学習の基本。読書相談など読書活動推進等のた

め、学校司書の配置を小学校で74校に、中学校で36校に拡大します。



司書による学校図書館での読み聞かせ

### 実績6

いじめ、不登校を解決  
スクールソーシャルワーカーの増員  
学校におけるいじめや不登校などの問題を解決するため、社会福祉士精神保健福祉士などの資格を持ったスクールソーシャルワーカーを4名から7名に拡充します。

また保護者、教師、児童生徒等からの心の相談に対応するため、臨床福祉士の資格を持つ、スクールカウンセラーも拡充します。

### 平成29年度予算で実現

## 子どもの貧困をなくし未来を支える人材を育む

平成29年度予算では、将来の神戸市の活力にかかわる「子どもの貧困」対策をはじめとする子育て支援の充実、若者が夢をもって神戸で働くことができる方策、老後の安心と「認知症」対策など、公明党市議団として市民の声に応えた政策を実現しました。主なものを紹介します。

### ① 子どもを産み育てるなら神戸

子供は親の希望であり、社会の活力です。希望を育む優れた環境を創ることが、都市の魅力であり、若い世代に選ばれる街の大きな条件です。子どもを産み育てるなら神戸と言われる政策を実現しました。

### 実績1

妊婦健診の助成額を政令市トップに  
妊婦健診は、安心、安全に出産するためにたいへん重要。助成金額をこれまでの9万8千円から12万円に引き上げました。政令指定都市でトップの助成額です。

### 実績2

不妊治療費の助成額も拡充  
子供がほしくても妊娠できない悩みを持つ方は少なくありません。平成29年度からこれまでの所得制限を撤廃し、助成額も増やしました。

拡充後	現行	所得
治療2回目以降の助成上限額 20万円 採卵から移植まで一連の治療を行った夫婦	治療2回目以降の助成上限額 15万円	730万円未満
助成上限額15万円 または治療内容により7万5千円の半額を上限に助成	助成なし	730万円以上

**実績3**

**保育園に入りやすくなります**

平成29年度で、保育定員をさらに約1,200人分増やします。

360人増 (7か所)	← 保育所・認定こども園
80人増 (4か所)	← 既存園の定員増
270人増 (9か所)	← 認定こども園への移行支援
360人増(20か所)	← 小規模保育の拡充
80人増 (4か所)	← 事業所内保育の拡充

**実績5**

**保育士さん不足の解消へ**

保育士の不足で、保育園定員を増やせない状況です。保育士の確保のため、国の制度に神戸市の補助を上乗せし年間7万円の収入増で待遇を改善。さらに、勤続年数に合わせ、4年目で年間24万円。8年目で年間77万円の増額を行います。

**②働くなら神戸がいい**

**実績1**

**奨学金の返済をどんと応援**

①市内の医療・福祉やITなどの分野に就職する大学・短大の卒業生、②少子高齢者対策や商店街の活性化などのため起業する35歳以下の若者で、3年以上に住むこと

20万円	← ①入学準備金
月額5万円(上限) 2年間を限度	← ②修学資金の一部
20万円	← ③就職準備金

**実績3**

**魅力の職場が見つかるように**

学生や大学キャリアセンター等と市内中小企業との交流機会を設け地元就職を呼びかける仕組みを充実します。経済団体とも協力を進め、仕事や経営者の思いを知ってもらう取組を進めます。

**実績4**

**プロの力で起業を応援**

米国シリコンバレーに拠点を置く起業家育成団体「500 Startups (ファイブハンドレッドスタートアップス)」と連携して、国内外の優秀な若い世代の起業支援などのため、昨年日本で初めて神戸に誘致した同団体のプログラムを本格実施します。

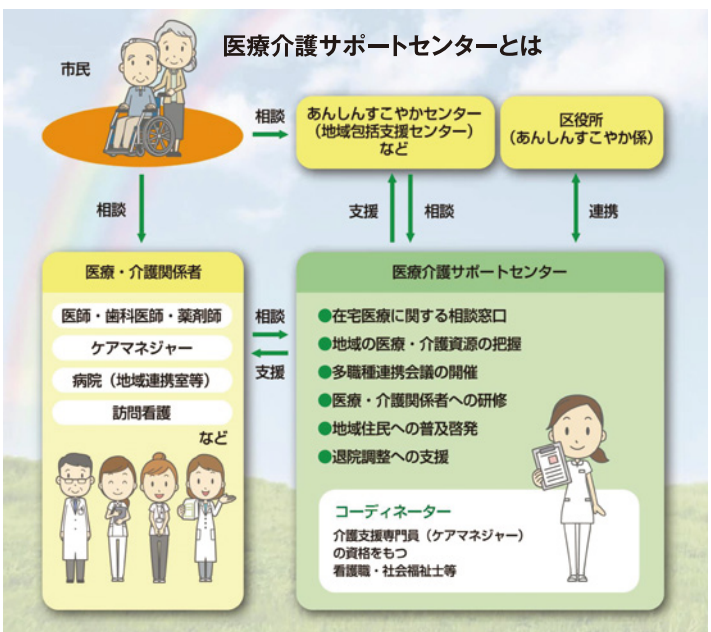
**③高齢や障がいでも、元気で、安心**

**実績2**

**医療と介護のサービスをコーディネート**

高齢や障がいによる日常生活の不安、不便を解消することは、すべての市民の生活の質を守る重要な政策です。充実したきめ細かな政策を提案し実現を図りました。

高齢者にとって医療と介護は切り離せません。在宅や施設でのサービスも含め、高齢者ご本人にとって最も望ましい医療・介護のサービスをスムーズに提供するため、医療・介護に従事する関係者をサポートする「医療介護サポートセンター」をすべての区に設置します(平成29年7月予定)。



**実績5**  
**障がい者の移動支援を拡大**

重度障がい者の移動を支援するため、従来のタクシー利用助成に加えて、家用車のガソリン代を助成する「自動車燃料費助成」を平成28年度に実現しましたが、平成29年度から対象者を重度精神障がい者(1級)にも拡大します。

**実績4**

**病児保育や育休明け預かりの拡大**

働く親にとって子どもが病気になることと保育園に預けられず大きな悩みです。そこで、病児保育室を新たに2か所新設する予算を計上。また、育児休暇明け乳幼児の定期預かり「KOBÉはじめルーム」を市内10カ所程度に拡大する予算も計上しました。



**実績1**

**介護施設・待たずに入れるように**

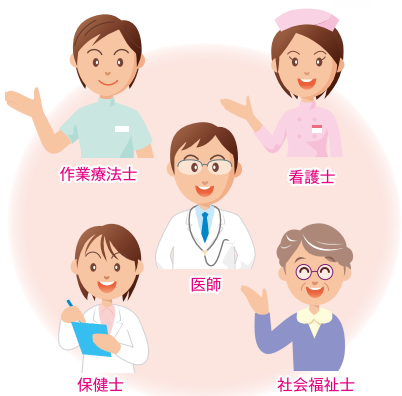
健康寿命をのばすとともに、施設介護が必要になつたら待たずに入れるように、介護施設の増設に努めています。次の表のとおり平成29年度で大幅に増設します。

469床分増設	← 特別養護老人ホーム
200床分増設	← 介護老人保健施設
190床分増設	← 介護型ケアハウス

**実績3**

**認知症を早期に発見・指導を実現**

認知症は早期に発見し、ご家族も含め対応を行うことで、生活の質を守ることができます。そのため医師や看護師らが自宅に訪問する「認知症初期集中支援チーム」を全区へ配置します。



認知症初期集中支援チーム

